



2026年3月期 第2四半期(中間期)決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年11月13日

上場会社名 ダイニック株式会社 上場取引所 東
コード番号 3551 URL <https://www.dynic.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 英伸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部門統括 (氏名) 新家 隆 (TEL) 03-5402-3132
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2026年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年4月1日~2025年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	22,029	1.6	1,067	12.3	1,100	5.0	1,123	43.0
2025年3月期中間期	21,672	6.0	950	127.1	1,048	59.3	785	62.9

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 760百万円(△28.9%) 2025年3月期中間期 1,068百万円(90.3%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	135.56	—
2025年3月期中間期	93.88	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	60,141	26,953	44.8
2025年3月期	61,085	26,594	43.5

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 26,953百万円 2025年3月期 26,594百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期(予想)			—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	46,000	4.4	2,300	7.7	2,400	7.1	1,600	21.6

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	8,504,747株	2025年3月期	8,504,747株
2026年3月期中間期	308,245株	2025年3月期	139,133株
2026年3月期中間期	8,284,106株	2025年3月期中間期	8,365,632株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の状況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(セグメント情報等の注記)	11

1. 経営成績等の状況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調にあります。一方で、継続的な物価上昇による個人消費の抑制や、米国の関税対策による影響等、先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループでは、「中期経営計画SOLID FOUNDATION2026」最終年度の達成に向けて取り組んでまいりました。前年度に引き続き好調な海外市場や国内のイベント需要も底堅く前年同期比で増収となりました。利益面では、継続的な販売価格転嫁の効果や、採算性改善の取組み等により、前年同期比で増益となりました。

その結果、売上高は22,029百万円（前年同期比1.6%増）となりました。利益面につきましては、営業利益1,067百万円（前年同期比12.3%増）、経常利益1,100百万円（前年同期比5.0%増）、親会社株主に帰属する中間純利益1,123百万円（前年同期比43.0%増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

なお、セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

①印刷情報関連事業

印刷被写体においては、布クロスが不採算分野の見直しで規模は縮小しておりますが、利益面では改善効果がありました。ビニールクロスは海外向けの手帳用表紙材の需給調整による受注減少が大きく影響し前年同期比で減収となりました。一方、フィルムコーティング製品は、自動販売機用途が主に環境対応素材等で好調に推移し、前年同期比で増収となりました。

また、産業用の品質表示用ラベルは海外向けの受注が好調で、国内市場でもリネンサプライ用途を中心に堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

印字媒体においては、ラベル等の印字用熱転写リボンが、食品包材用途で国内、海外向けともに堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。その他、有機EL用水分除去シートを含む電子特材分野でも、国内外で販売が好調で、前年同期比で増収となりました。

その結果、当セグメントの売上高は10,919百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は1,087百万円（前年同期比1.0%増）となりました。

②住生活環境関連事業

不織布は、展示会用カーペットや住宅用床吸音材が堅調に推移し、前年同期比で増収となりました。

壁装材は、住宅向けの市況が低調で前年同期比で減収となりました。産業用ターポリンは、樹脂運搬用フレキシブルコンテナやトンネル工事用の風管の受注が堅調で、販売価格転嫁の効果もあり、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は6,100百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は184百万円（前年同期比95.0%増）となりました。

③包材関連事業

食品包材・蓋材は、乳製品や乳酸菌飲料の蓋材は堅調に推移しましたが、前年同期比では若干の減少となりました。一方、紙器の食品容器では、新規顧客の獲得や生産性の改善により前年同期比で増収増益となりました。医療用パップ剤用フィルム加工は、引き続き海外向けが好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

その結果、当セグメントの売上高は4,080百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は225百万円（前年同期比14.7%増）となりました。

④その他

ファンシー商品は、主要顧客向けのノート・手帳類の在庫抑制が続く、前年同期比で大幅な減収となり、利益面でも厳しい状況となりました。また、商品等運送・庫内整理は全体的に荷動きが悪く前年同期比で減収となりました。

その結果、売上高は1,476百万円（前年同期比5.8%減）、営業損失は3百万円（前年同期は営業利益20百万円）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して944百万円減少し、60,141百万円となりました。これは主に電子記録債権が265百万円、商品及び製品が208百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して1,303百万円減少し、33,188百万円となりました。これは主に短期借入金が1,176百万円、設備関係支払手形が399百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して359百万円増加し、26,953百万円となりました。これは主に利益剰余金が872百万円増加し、為替換算調整勘定が442百万円減少したことなどによるものであります。

当中間連結会計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、税金等調整前中間純利益1,404百万円、減価償却費731百万円を計上した一方で、投資有価証券売却益317百万円、法人税等の支払額268百万円などにより当中間連結会計期間は2,099百万円の収入となりました。これは前中間連結会計期間の1,131百万円の収入に対し969百万円の収入の増加となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得による支出1,075百万円を計上した一方で、投資有価証券の売却による収入394百万円などにより当中間連結会計期間は701百万円の支出となりました。これは前中間連結会計期間の568百万円の支出に対し133百万円の支出の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、短期借入金の純減少1,209百万円、配当金の支払251百万円などにより当中間連結会計期間は1,447百万円の支出となりました。これは前中間連結会計期間の594百万円の支出に対し853百万円の支出の増加となりました。

この結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は4,049百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2025年5月15日発表の数値に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,297,843	4,536,657
受取手形、売掛金及び契約資産	8,124,276	8,052,802
電子記録債権	5,240,274	4,975,025
商品及び製品	5,302,906	5,095,219
仕掛品	1,170,493	1,204,280
原材料及び貯蔵品	2,936,718	2,801,609
その他	679,398	600,958
貸倒引当金	△12,652	△12,151
流動資産合計	27,739,256	27,254,399
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,140,845	18,140,475
減価償却累計額	△13,028,113	△13,175,234
建物及び構築物(純額)	5,112,732	4,965,241
機械装置及び運搬具	24,779,027	24,836,983
減価償却累計額	△21,488,170	△21,515,482
機械装置及び運搬具(純額)	3,290,857	3,321,501
工具、器具及び備品	3,267,415	3,296,681
減価償却累計額	△2,936,781	△2,955,020
工具、器具及び備品(純額)	330,634	341,661
土地	10,389,085	10,328,339
リース資産	471,781	470,656
減価償却累計額	△240,307	△248,043
リース資産(純額)	231,474	222,613
使用権資産	328,810	329,995
減価償却累計額	△196,111	△220,724
使用権資産(純額)	132,699	109,271
建設仮勘定	211,067	246,548
有形固定資産合計	19,698,548	19,535,174
無形固定資産		
その他	70,908	82,505
無形固定資産合計	70,908	82,505
投資その他の資産		
投資有価証券	6,665,936	6,812,905
退職給付に係る資産	3,292,014	3,302,698
繰延税金資産	217,755	210,274
投資不動産	3,797,728	3,797,728
減価償却累計額	△1,115,042	△1,142,406
投資不動産(純額)	2,682,686	2,655,322
長期貸付金	110	—
その他	734,086	296,469
貸倒引当金	△16,230	△8,806
投資その他の資産合計	13,576,357	13,268,862
固定資産合計	33,345,813	32,886,541
資産合計	61,085,069	60,140,940

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,553,074	7,390,498
短期借入金	13,253,301	12,077,002
リース債務	139,630	132,522
未払法人税等	349,639	350,573
賞与引当金	500,450	507,318
役員賞与引当金	15,050	11,700
事業整理損失引当金	19,918	21,159
環境対策引当金	9,127	6,647
設備関係支払手形	526,612	127,316
その他	1,048,083	1,138,222
流動負債合計	23,414,884	21,762,957
固定負債		
長期借入金	6,215,000	6,395,000
リース債務	245,244	210,464
繰延税金負債	2,702,474	2,885,347
再評価に係る繰延税金負債	1,336,764	1,336,764
退職給付に係る負債	412,840	434,404
その他	163,967	162,953
固定負債合計	11,076,289	11,424,932
負債合計	34,491,173	33,187,889
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,795,651	5,795,651
資本剰余金	986,703	986,703
利益剰余金	12,129,509	13,001,538
自己株式	△103,016	△252,990
株主資本合計	18,808,847	19,530,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,315,371	2,471,815
土地再評価差額金	2,760,848	2,760,848
為替換算調整勘定	1,127,971	686,190
退職給付に係る調整累計額	1,580,859	1,503,296
その他の包括利益累計額合計	7,785,049	7,422,149
純資産合計	26,593,896	26,953,051
負債純資産合計	61,085,069	60,140,940

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	21,672,066	22,028,805
売上原価	17,490,751	17,660,102
売上総利益	4,181,315	4,368,703
販売費及び一般管理費	3,231,367	3,301,974
営業利益	949,948	1,066,729
営業外収益		
受取利息	10,811	1,644
受取配当金	92,030	112,243
受取賃貸料	125,170	124,757
雑収入	131,057	124,528
営業外収益合計	359,068	363,172
営業外費用		
支払利息	141,337	135,673
持分法による投資損失	—	5,662
為替差損	7,113	53,631
賃貸費用	66,842	68,399
雑損失	45,381	66,242
営業外費用合計	260,673	329,607
経常利益	1,048,343	1,100,294
特別利益		
固定資産売却益	5,565	1,273
投資有価証券売却益	—	317,199
特別利益合計	5,565	318,472
特別損失		
固定資産処分損	13,157	14,440
関係会社清算損	13,284	—
特別損失合計	26,441	14,440
税金等調整前中間純利益	1,027,467	1,404,326
法人税等	283,667	281,329
中間純利益	743,800	1,122,997
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△41,585	—
親会社株主に帰属する中間純利益	785,385	1,122,997

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	743,800	1,122,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,554	156,444
為替換算調整勘定	333,825	△424,068
退職給付に係る調整額	△46,477	△77,563
持分法適用会社に対する持分相当額	11,722	△17,713
その他の包括利益合計	324,624	△362,900
中間包括利益	1,068,424	760,097
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	1,090,406	760,097
非支配株主に係る中間包括利益	△21,982	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,027,467	1,404,326
減価償却費	752,038	731,499
賞与引当金の増減額(△は減少)	24,895	6,868
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,000	△3,350
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	14,137	24,720
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△120,438	△125,966
貸倒引当金の増減額(△は減少)	13,130	118
受取利息及び受取配当金	△102,841	△113,887
支払利息	141,337	135,673
持分法による投資損益(△は益)	—	5,662
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△317,199
固定資産売却損益(△は益)	△5,565	△1,273
固定資産処分損益(△は益)	13,157	14,440
売上債権の増減額(△は増加)	1,111,400	248,179
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,529	245,605
仕入債務の増減額(△は減少)	△980,175	△81,343
未払消費税等の増減額(△は減少)	△236,817	180,307
その他	△130,786	30,578
小計	1,500,410	2,384,957
利息及び配当金の受取額	96,166	119,936
利息の支払額	△142,818	△137,112
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△322,871	△268,318
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,130,887	2,099,463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△79,830	△79,731
定期預金の払戻による収入	161,540	84,430
有形固定資産の取得による支出	△497,618	△1,074,952
有形固定資産の売却による収入	6,074	1,310
無形固定資産の取得による支出	△396	△6,401
投資有価証券の取得による支出	△15,599	△17,611
投資有価証券の売却による収入	12,883	393,660
関係会社株式の取得による支出	△261,415	—
関係会社の整理による収入	89,834	—
保険積立金の解約による収入	22,276	5,005
その他	△5,758	△6,319
投資活動によるキャッシュ・フロー	△568,009	△700,609

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	27,044	△1,208,634
長期借入れによる収入	1,500,000	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,835,000	△1,760,000
リース債務の返済による支出	△76,513	△77,444
自己株式の取得による支出	△20	△149,974
配当金の支払額	△209,141	△250,968
財務活動によるキャッシュ・フロー	△593,630	△1,447,020
現金及び現金同等物に係る換算差額	126,070	△110,921
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	95,318	△159,087
現金及び現金同等物の期首残高	4,510,592	4,208,513
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,605,910	4,049,426

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,772,303	5,963,230	3,899,668	20,635,201	1,036,865	—	21,672,066
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,156	6	86	5,248	530,506	△535,754	—
計	10,777,459	5,963,236	3,899,754	20,640,449	1,567,371	△535,754	21,672,066
セグメント利益	1,076,054	94,590	195,981	1,366,625	19,739	△436,416	949,948

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンシー商品及び運送・庫内整理等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△436,416千円には、セグメント間取引高消去25,200千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△461,616千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	印刷情報 関連事業	住生活 環境関連 事業	包材関連 事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,913,045	6,100,346	4,079,678	21,093,069	935,736	—	22,028,805
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5,624	107	146	5,877	540,443	△546,320	—
計	10,918,669	6,100,453	4,079,824	21,098,946	1,476,179	△546,320	22,028,805
セグメント利益又は損失(△)	1,086,638	184,454	224,820	1,495,912	△2,948	△426,235	1,066,729

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファンシー商品及び運送・庫内整理等の事業を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失の調整額△426,235千円には、セグメント間取引高消去25,445千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△451,680千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益又は損失は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。